

第 18 期事業計画書

令和 2 年 6 月 1 日から 令和 3 年 5 月 3 1 日まで

1 事業の実施方針

法人の目的（ミッション）「芸術文化の薫る心豊かな社会の実現」

芸術工房は、芸術文化が市民共有の財産として誰もが平等にその恩恵を受ける心豊かな社会の実現を目指します。

第 16 期から 5 年間の中期目標「組織力の強化と質の高い事業運営」

- （１）会員数を拡大しながら、ゼネラルアーティストやコーディネーターの数を増やす。
- （２）各事業の連携を強化し、質の高い事業運営サイクルを確立する。
- （３）会員が常駐し、社会貢献の模範となるような活動拠点をつくる。

※中期目標の達成に向けた運営方針

- ①法人内での事業連携や相乗効果を意識して運営する。
- ②多くのアーティストや公演関係者を「みんなのサロン」に招く。
- ③子どもを対象にした居場所をつくる。
- ④事業担当者を増やし、情報交換の機会を増やす。
- ⑤情報のプラットフォーム化を進め、活動関係者を増やす。
- ⑥積極的に研修会を開催し、セミナー等にも参加する。
- ⑦関係者間の交流と意見交換の機会を増やす。
- ⑧会議の開催方法を進化させて理事の参画を図る。
- ⑨一般管理の担当者を増やし、業務の見える化を進める。
- ⑩会員通貨を利用できる機会を増やす。

第 18 期の活動計画

第 18 期は、新型コロナウイルス(以下「コロナ」という)の影響で公演等に関する制限が続くため、新たな活動様式を取り入れながら各事業の見直しを行います。具体的な活動内容は次のとおりです。

- （１）「公演業務支援事業」を「公演業務協働事業」に変更し、さくらホールのパートナー（協働相手）としての自覚を持つと共に、コロナの感染防止を考慮した新しい公演業務の進め方をスタッフ間で共有しながら、お客様が安心して鑑賞できる公演サービスを提供する。
- （２）参加者の減少を抑えるため「芸術イルミネーションパーク事業」の活動回数を増やすと共に、文化芸術活動のパワー回復を願い、“さくらリング”に新しい色を加える。
- （３）「行政及び芸術施設との協働事業」の分類に「文化芸術コーディネーター事業」と「条例制定等支援事業」を新設し、県や市が進める文化政策の主要な業務を担当する。
- （４）「鑑賞促進事業」を「芸術体験促進事業」に変更し、芸術の鑑賞や体験、文化施設や映画館の入場料等にも会員通貨の利用範囲を広げる。また、今年はコロナの影響で公演が少ないため 2018 年発行通貨の使用期限を来年まで延長する。
- （５）コロナの影響で自主企画の公演開催を来期に延期する。今期は、日本芸能実演家団体協議会の「アートキャラバン事業」を活用し、「Corona 免疫力 LIVE」を開催してアーティストに出演の機会を提供する。
- （６）「みんなのサロン」の参加者に他の活動情報を紹介し、新しい参加者と会員の拡大を図る。
- （７）「こどもアートサポート事業」は、今期の開催希望校がないため、予算を来期に繰り越す。一方、これまでの「あそび育て推進事業」を当事業に包括し、子どもの芸術体験を進める。
- （８）公式 HP のリニューアルや「エンジョイいわて」のグレードアップ及びオンライン会議やクラウドソフトの活用により、IT による新しい活動形態を構築する。
- （９）「条例制定等支援事業」で開催するセミナーへの参加を促し、独自の研修会も開催して、北上市の文化芸術推進基本計画の策定を支援できるようなスタッフを養成する。
- （10）事業終了時の交流会のほか、会員通貨を利用した食事会等を定期的に開催し、感染症対策を取りながら、会員相互及び芸術関係者との交流と連携を進める。

2 事業の実施内容

事業名◇事業概要★☆事業目的	実施内容	実施時期	対 象	目標値
行政及び芸術施設との協働事業				
公演業務協働事業 ◇公演業務（フロント、託児、ステージ運営、音響、チラシ折込み、アンケート集計、その他の運営補助）の支援 ★質の高い公演サービスの提供 ☆多様な芸術に対する知識や関心度の増大	①フロント業務 ②託児業務 ③ステージ運営・音響 ④チラシ折込み ⑤アンケート集計	①随時 ②随時 ③随時 ④随時 ⑤随時	公演主催者 公演鑑賞者	①担当者数 40 人 ①コロナ対策 100% ②担当者数 2 人 ③担当者数 15 人 ④担当者数 2 人 ⑤公演数 2 公演
芸術イルミネーションパーク事業 ◇芸術性を活かした景観資産の維持活動 ★社会貢献活動（景観づくり）への参加促進 ☆こどもアートサポート事業の資金確保	①制作・修繕・取付 ②協賛集め ③撤収・後片付	①7～10 月 ②11～1 月 ③4 月	施設来場者 協賛企業	①担当者数 50 人 ①新色本数 10 本 ②協賛口数 60 口 ③担当者数 10 人
文化芸術コーディネーター事業 ◇文化芸術活動の支援及びコーディネート ★地域の文化芸術活動の活性化 ☆コーディネーターの養成	①活動の支援及びコーディネート ②県南ネットワーク会議 ③コーディネーター会議	①通年 ②年 2 回 ③年 2 回	文化芸術関係者	①業務回数 120 回 ②③会議数合計 8 回 ②③出席数延べ 24 人
条例制定等支援事業 ◇北上市の条例制定及び基本計画策定に関する業務 ★条例及び基本計画の内容充実 ☆今後の文化政策の理解とスタッフの養成	①文化政策セミナー ②文化政策ワーキング ③文化政策フォーラム ④基本計画策定ワーキング ⑤行政事務局支援	①10 月 ②11 月（2 回） ③12 月 ④1～2 月 ⑤10～3 月	北上市	①参加者数延べ 50 人 ②参加者数延べ 50 人 ③入場者数 100 人 ④参加者数 20 人 ⑤準備会議 5 回
芸術の普及、活性化事業				
芸術体験促進事業 ◇芸術の鑑賞や体験に必要な文化施設の入場料やチケット代の負担 ★芸術体験の促進 ☆会員通貨の利用促進	①公演チケットの購入 ②映画券の購入 ③芸術体験の参加料負担 ④文化施設の入場料負担	①通年 ②通年 ③通年 ④通年	会員	①購入金額 10 万円 ②購入金額 1 万円 ③負担金額 5 千円 ④負担金額 5 千円
アーティスト連携事業 ◇芸術家と一緒に取り組むイベント運営 ★アーティストとの連携強化 ☆ゼネラルアーティストの育成	①Corona 免疫力 LIVE-1 ②Corona 免疫力 LIVE-2 ③来期公演の企画	①10 月 ②2 月 ③通年	芸術家	①出演者数 3 人 ①観客数 80 人 ②出演者数 3 組 ②観客数 160 人 ③企画会議 4 回
みんなのサロン事業 ◇多様な体験参加イベントの開催 ★多様な文化芸術との出会いの創出 ☆交流や情報交換の増進及び会員拡大	①歌唱サロン ②楽器演奏サロン ③手芸サロン ④図書サロン ⑤音楽鑑賞サロン ⑥その他のサロン	①毎月 2 回 ②毎月 2 回 ③毎月 1 回 ④毎月 1 回 ⑤4 回 ⑥随時	会員及び一般参加者	開催回数延べ 80 回 会員参加者数延べ 300 人 一般参加者数延べ 100 人
芸術に関する人材育成事業				
こどもアートサポート事業 ◇子ども達に対する芸術体験の提供 ★子どもの主体性と多様なコミュニケーション能力の育成及び関係者の意識改革 ☆スタッフ自身の芸術の理解と経験の蓄積	①体験イベントの支援 ②次年度開催校の募集	①通年 ②1～2 月	主宰者 小学校	※関係者の変化を観察 ①イベント数 12 回 ②開催希望校 2 校
あそびの学校運営事業 ◇造形広場「あそびの学校」の運営 ★子どもの創造力育成 ☆こどもアートサポートのスタッフ養成	①あそびの学校の運営 ②スタッフ説明会	①毎月 1 回 ②6・4 月	一般来場者 （子供）	※スタッフの変化を観察 ①開催回数 12 回 ①担当者数 48 名 ②参加者数合計 15 名

事業名◇事業概要☆事業目的	実施内容	実施時期	対 象	目標値
その他の事業				
情報サービス事業 ◇情報誌、マスコミ、インターネット等を活用した情報サービスの提供 ☆活動情報の共有と関係者のネットワークづくり	①情報誌等発送準備 ②ＴＶラジオ番組出演 ③ＨＰリニューアル更新 ④エンジョイいわて更新 ⑤会員メール送信 ⑥テレプロ通信管理	①毎月１回 ②随時 ③随時 ④毎月１回 ⑤通年 ⑥随時	一般市民 会員	①参加者数延べ 100 人 ②出演人数延べ 18 人 ③完成度 100% ④更新月数 12 月 ⑤送信回数 1,500 回 ⑥利用者数 3 団体
スキルアップ事業 ◇各種研修やセミナーへの参加及び開催による会員のスキルアップ活動 ☆活動に必要な知識や技術の取得及び能力の開発	①フロント研修 ②託児研修 ③フォローアップ研修 ④音響研修 ⑤アートマネジメント研修 ⑥ＷＥＢ活用セミナー ⑦文化政策セミナー ⑧文化政策ワーキング ⑨文化政策フォーラム ⑩各種研修報告会 ⑪視察出張・視察受入	①受講希望時 ②受講希望時 ③3 月 ④随時 ⑤随時 ⑥随時 ⑦10 月 ⑧11 月 ⑨12 月 ⑩2 回 ⑪随時	会員	①参加者数延べ 10 人 ②参加者数延べ 2 人 ③参加者数 10 人 ④参加者数延べ 2 人 ⑤参加者数延べ 10 人 ⑥参加者数 10 人 ⑦参加者数 10 人 ⑧参加者数延べ 10 人 ⑨参加者数 15 人 ⑩参加者数延べ 12 人 ⑪参加者数 3 人
交流推進事業 ◇会員相互又は外部の関係者との交流会や懇親会等の開催又は参加 ☆会員の連帯感とモチベーションの維持及び関係者のネットワークづくり	①レギュラー会員懇親会 ②忘年会又は新年会 ③活動後の交流会 ④食事会 ⑤関係者との懇親会	①8 月 ②年末年始 ③随時 ④3 ヶ月毎 ⑤随時	会員	※参加者の変化を観察 ①参加者数 12 人 ②参加者数 12 人 ③参加者数延べ 40 人 ④参加者数延べ 40 人 ⑤参加者数 20 人
一般管理				
会議事務 ◇各種会議の開催及び関係団体の会議出席	①総会 ②理事会 ③例会 ④プロジェクトミーティング ⑤関係団体の会議出席等	①8 月 ②8 月 ③毎月 ④随時 ⑤随時	会員	①出席者数 15 人 ②出席者数延べ 10 人 ③出席者数延べ 100 人 ④開催回数 8 回 ⑤出席回数 2 回
管理事務 ◇会員登録、組織及び備品等の管理	①入会登録・会員証発行 ②会員台帳の更新 ③メールアドレス管理 ④活動簿の記録 ⑤理事長登記 ⑥所轄庁届出 ⑦事務用機器・備品管理 ⑧福利厚生	①随時 ②6 月 ③随時 ④随時 ⑤8 月 ⑥8 月 ⑦随時 ⑧随時	会員 官公署	①新規登録 10 人 ②台帳更新 1 回 ③アドレス更新 1 回 ④活動記録 300 回 ⑤参加者記録 1500 人 ⑥業務回数 1 回 ⑦業務回数 1 回 ⑧事務用機材購入 1 種類 ⑨コピー在庫管理 3 回
会計事務 ◇会計と財産及び納税等の管理	①現金・預金管理 ②証憑管理・帳簿入力 ③月次残高管理 ④前期末決算・内部監査 ⑤中間決算・内部監査 ⑥会計監査 ⑦確定申告 ⑧納税（住民税・源泉）	①通年 ②通年 ③毎月 1 回 ④7 月 ⑤1 月 ⑥8 月 ⑦8 月 ⑧7 月、1 月	会員 取引先 税務署	①業務月数 12 ヶ月 ②業務月数 12 ヶ月 ③業務回数 12 回 ④業務回数 2 回 ⑤業務回数 2 回 ⑥業務人数 2 人 ⑦業務回数 1 回 ⑧業務回数 2 回

※第 18 期は、特定非営利活動事業のみ実施し、収益事業及びその他の事業を実施する予定はありません。